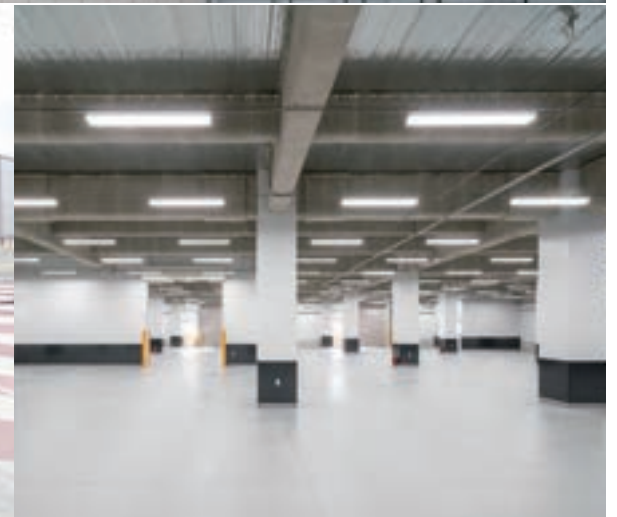
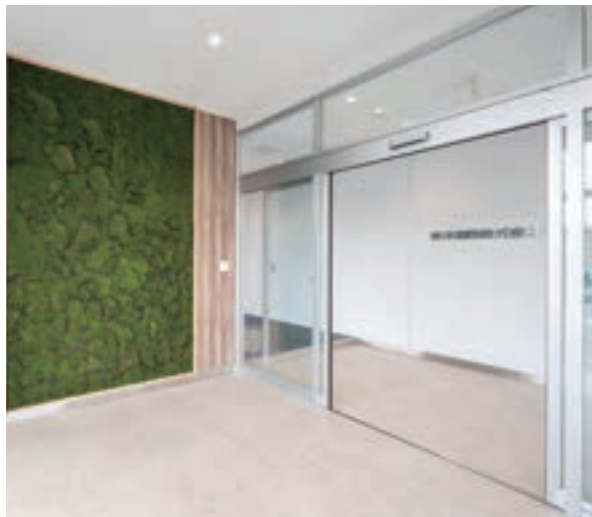




工場建設プロジェクトを成功へ導く 失敗しないプロセスと プロジェクトマネジメント

PROCESS AND PROJECT MANAGEMENT
LEADING TO SUCCESS





**工場建設プロジェクトを成功させる為に、
最初に押さえておく事とは？**

工場建設プロジェクトを行う上で、押さえておきたい留意ポイント

—— リスク回避のための建設会社の選び方

工場建設プロジェクトは規模が大きくなるにつれ、工期が長く、費用が大きく、さまざまなステークホルダーが増えていきます。意思決定や連絡調整にかかる時間。問題発生時の責任の所在。品質、コストの管理など、さまざまなリスクも考えられます。プロジェクトが大きいからこそ、始まってしまうと、もう後には戻れません。トラブル回避や事前対策を行う上では、建設会社の選定がとても重要になります。プロジェクトを成功に導く建設会社を選ぶための、3つのポイントをご紹介します。

Risk 1

関係する会社が増えるほど、
トラブル発生危険性も増える…

✓ Point 1

➡ 建設会社が専門チームを設置し、
プロジェクトマネジメント体制が構築されている

前提 工場建設プロジェクトでは、建設会社と、既存の工場を
メンテナンスされている電気・機械設備業者のそれぞれ
に分離発注されるケースが多々あります。

分離発注の場合において、工程管理、品質担保、コスト管理などの、責任範囲が不明確になることがあります。起こりうるトラブルを防ぐためにも、建設会社に求められる能力はプロジェクトマネジメントです。

一般的には、各社との明確な業務範囲や役割分担の設定、コミュニケーション手段構築など建設会社が全体工事の旗振り役を担います。工場建設プロジェクトマネジメントには、各社のステークホルダーとの調整、コスト、タイム、リスクマネジメント等があり、これらに知見のある建設会社がチームとして取り組んでいると、事前のリスク評価のもと、起こりうるリスクを最小化し、プロジェクトの円滑な進行が可能になります。

Risk 2

設計図やファシリティマネジメントの
情報が管理しきれず非効率に

✓ Point 2

➡ 設計はもちろんプロジェクト管理も
効率的に行えるBIMを導入している

BIMとは、コンピューター上に現実と同じ建物を3Dモデルで再現し、設計・施工や維持管理までのあらゆる工程や材料などデータベース化して活用できる仕組みのことです。これにより、分離発注の際においても各社のデータを一元化し、可視化することで、ミスの早期発見や、工程や予算管理にも連携できます。さらには、工場改修や増築、ライン変更の際に必要な情報が取り出せるのでファシリティマネジメントに役立ちます。

Risk 3

工場稼働後に不具合や改善点に
気付くケースも多い

✓ Point 3

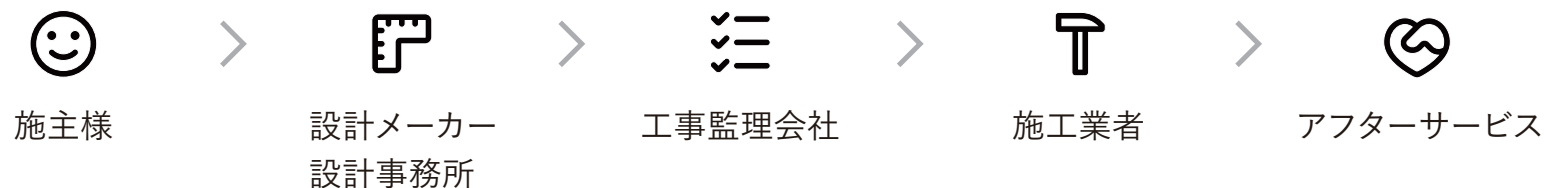
➡ 竣工してからが本当のお付き合いの始まり、
アフターサービスの体制がある建設会社

アフターサービスの体制が構築されている建設会社を選ぶことは、工場の長期的な運営や、事業の安定性に大きく影響します。小さな不具合や問題は放置すると大きな修理費やメンテナンス費用となることがあります。工場のイニシャルコストも大切ですが、ランニングコストは見落としがち。工場のトータルコストから鑑みるとファシリティマネジメントは重要であり、そのサポートができるメンテナンス体制がある建設会社が、信頼できるパートナーとなります。

Point1~3を備えた設計施工 一貫体制の建設会社がおすすです。

責任区分を明確化してトラブルを事前回避。
調整やイレギュラーにも迅速に対応が行えます。

一般的な施工の場合



SAWAMURAの 設計施工一貫体制



設計施工一貫体制の建設会社であれば、円滑なプロジェクト進行が可能になります

—— ナレッジの蓄積による高い品質と提案力

設計施工一貫方式のメリットとして、設計段階での施主様の意向が施工に反映されやすいことが挙げられます。さらに、設計会社と施工会社間で起こりうるコミュニケーションエラー防止や早期の施工人員選定による施工の先行計画、そして部材の先行発注による工期短縮やコスト削減にもつながります。また、設計者と施工者が一体であることにより、責任が明確であり、突発的な問題への対応力が高い傾向にあります。さらに、設計施工一貫方式では、施工のナレッジやノウハウが設計にも反映されやすく、企画においては提案力、詳細設計においては精度が高まる事で、後戻りの少ないプロジェクトマネジメントが実現されます。



4拠点に点在していた工場を集約。品質の向上と、企業の未来を見据える旗艦工場へ

CACE

課題

事業規模の拡大や最新機器の導入により、これまで運営していた印刷工場が手狭に。以前の工場は3拠点あり、印刷や出荷倉庫など機能を分散していたため、この機会に拠点を一つに集約し社員同士のつながりも構築していきたい。

施策

クライアントが工場を新築する本質的な目的は、「よりよいものづくりをする」と位置付け、まずは印刷工場としての質向上をめざしました。紙を扱う業態なので静電気に配慮した湿度管理・温度管理+導電性床を採用。セキュリティ面を強化するとともに、さらなる効率化を促す動線確保にも注力しました。



東洋印刷株式会社 京都本社

業界：印刷業

面積：鉄骨造 工場 3953.22㎡ / 事務所 1279.31㎡

工期：2020年10月～2021年12月

設計：SAWAMURA 工事監理：SAWAMURA 施工：SAWAMURA



3Kと言われていた
印刷工場の
イメージアップに成功！



拠点がひとつに
スタッフの
モチベーションUP！



工場見学の依頼増！



株式会社澤村

大津オフィス

〒520-0242

滋賀県大津市本堅田三丁目33-16 エルミナリアン2F
TEL. 077-572-3879 FAX. 077-573-8384

長浜オフィス

〒529-0425

滋賀県長浜市木之本町木之本1556番1

本社

〒520-1121

滋賀県高島市勝野1108番地3

TEL. 0740-36-0130 FAX. 0740-36-1661

京都オフィス

〒601-8047

京都市南区東九条下殿田町43番地2F サラメルクリオ内
TEL. 075-256-5551 FAX. 075-662-8688

敦賀オフィス

〒914-0811

福井県敦賀市中央町一丁目8-10

TEL. 0770-22-6005 FAX. 0770-47-6405